

敬老の日になんで

〔高齢者は58万5,710人 県総人口の19.7%〕

9月18日は敬老の日です。敬老の日になんで、高齢者に関する統計を取り上げてみました。
なお、65歳以上のいわゆる老年人口を「高齢者」としました。

高齢者の数(65歳以上人口)は58万5,710人、県総人口の19.7%で過去最高

茨城県常住人口調査の結果から、平成18年9月18日現在の高齢者の数を推計すると、585,710人となり、県総人口に対する割合は19.7%になります。この数値は人口、割合ともに過去最高となります。

前年同時期の推計に比べると、高齢者の人口は13,680人増加し、県の総人口に対する割合も19.1%から0.6ポイント上昇しました。

男女別では、男性が255,020人、女性が330,690人で、女性が男性を75,670人上回っています。

表 茨城県の高齢者人口の推計(平成18年9月18日現在)

	総人口	高齢者人口 (65歳以上)	割合
男女計	2,972,184人	585,710人	19.7%
男	1,477,988人	255,020人	17.3%
女	1,494,196人	330,690人	22.1%

注)茨城県常住人口調査の結果をもとに推計

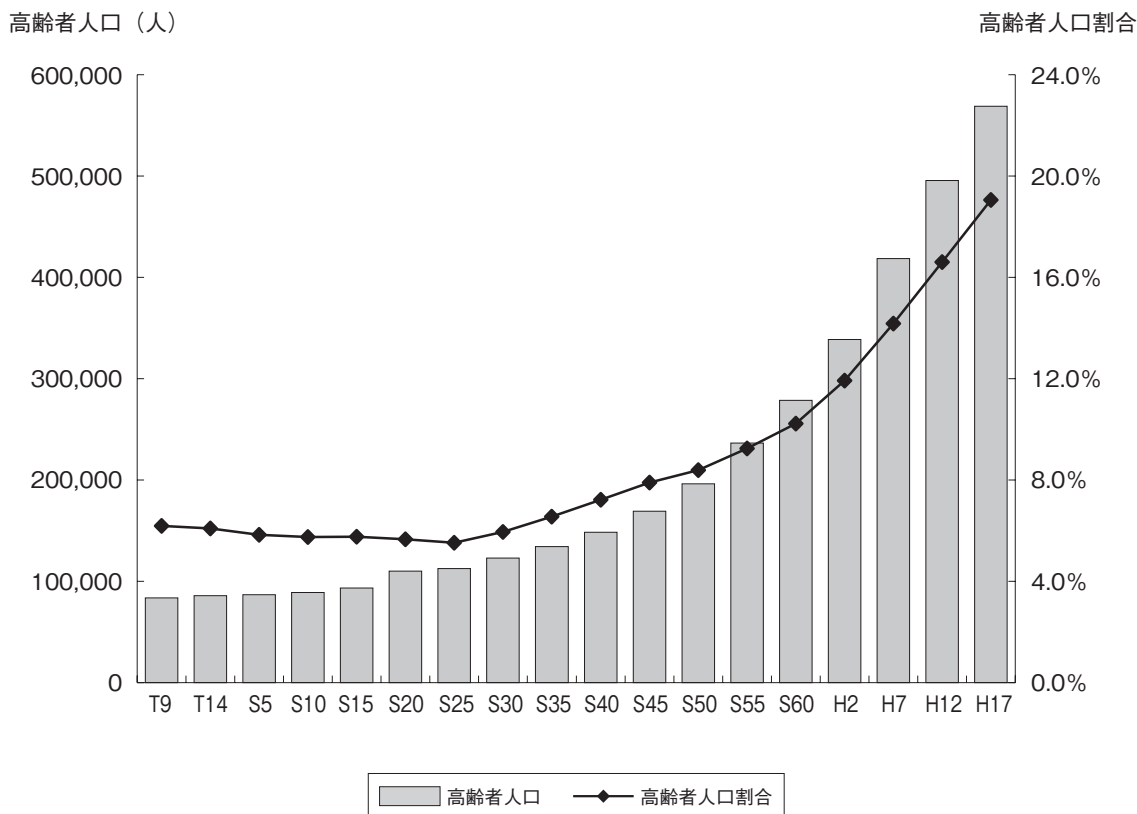
高齢者の数、割合ともに増加傾向続く

本県の高齢者人口は年々増加しており、昭和57年4月に250,247人と25万人を超え、平成3年7月には351,386人と35万人を超えました。また、平成9年10月には450,666人と45万人を超え、さらに、平成16年4月には550,552人と55万人を超えています。

大正9年から5年ごとに行われる国勢調査結果より、県総人口に占める高齢者人口割合の推移をみると、第1回国勢調査が行われた大正9年以降、昭和35年ごろまでは6%程度で推移しており、昭和25年が5.5%と最も低い割合になります。その後は年々上昇し、昭和60年には10.2%と10%を超え、平成12年には15%を超えて16.6%まで上昇しています。



図1 茨城県の高齢者人口の推移（各年10月1日現在）



注) 国勢調査結果により作成。(ただし平成17年は茨城県常住人口調査結果(平成17年7月1日現在)による。)

県北、県央、県西地域で高齢者割合が20%以上

平成18年9月18日現在の高齢者の割合を地域別にみると、県北地域21.9%、県央地域20.4%、鹿行地域19.5%、県南地域17.8%、県西地域20.0%となり、県北、県央及び県西地域では5人に1人が高齢者ということになります。

また高齢者の割合が高い市町村では、大子町、常陸大宮市、常陸太田市、河内町、行方市の5市町が25%を超えており、他方、高齢者の割合が低い市町村では、守谷市、つくば市、神栖市の3市が15%未満となっています。

— 茨城県常住人口調査について —

茨城県常住人口調査は、国勢調査の間における県内各市町村ごとの人口及び世帯の移動状況を明らかにするために、県統計課が実施しているものです。